関西国際空港の強化に向けた要望書

平成25年8月

関西国際空港全体構想促進協議会

わが国初の2空港一体運営の開始から1年、経営統合初年度の関西国際空港は、拠点として活用するPeachの順調な伸びもあり、発着回数や旅客数などの経営指標が概ね新関西国際空港株式会社の掲げた目標どおり推移した。

一方で、尖閣諸島問題に端を発した中国路線の運休・減便が長引くと ともに、物流についても、世界経済の影響等により貨物需要が伸び悩む など、今後の関空の空港運営には幾つかの不安定要素も見受けられると ころである。

今後、関西国際空港が国家の基幹インフラとしての機能を確立し、アジアの諸空港にも勝る競争力を有する空港として発展することは、少子高齢化・人口減少が進む我が国の成長を支えていく上でも極めて重要である。

関西国際空港では、近年、LCCの拠点としての機能が充実し、アジアを始め海外からのインバウンド需要が増加するとともに、関西イノベーション国際戦略総合特区の一地区として、医薬品など今後の成長産業を支える物流基盤としての機能が強化されるなど、我が国の成長を担う国際拠点空港へと取組みが進められている。

今後も、国と地元自治体、経済界、新関西国際空港株式会社が連携・協力し、これらを着実に進めることが重要である。

地元としても、関西国際空港を拠点とする航空会社の定着や中長距離 国際線等のネットワーク拡充、特区制度をさらに活用した物流拠点の形 成等、関空の機能強化に全力で取り組む所存である。

国におかれても、コンセッションを通じた関空全体の財務構造の改善、 国際拠点空港としての機能の再生・強化に向け、必要な施策・措置を講 じられるよう、強く求めるものである。

以上の観点から、下記のとおり要望する。

- 1 関西国際空港が、我が国を代表する国際拠点空港にふさわしい国際 競争力を備え、関西経済の活性化にもつながるよう、新たなターミナ ル整備によるLCC拠点機能の強化や特区制度の活用等による貨物ハブ 機能の強化などの取組みに対し、積極的な支援・協力を行うこと。
- 2 コンセッションについては、関西国際空港の債務の早期の確実な返済と財務構造の改善、国際拠点空港としての機能の再生・強化を目指す観点から、適時適切な条件で実施できるよう、必要な環境整備に努めること。

なお、政府補給金は、コンセッション実施までの間、適切に措置すること。

3 関西国際空港のアクセスの抜本改善に向け、大阪都心部と関空を結 ぶ高速鉄道等アクセスについて検討を進め、早期整備に向けた取組み を推進すること。

また、高速道路のミッシングリンクの解消や、海上アクセスをはじめとするアクセス利便性向上についても着実に推進すること。

4 コンセッションの実施にあたっては、関西国際空港の開港以来築き上げてきた空港会社と国、地元との協力関係を十分踏まえ、国として地元に対する必要な情報提供と適切な関与に努めること。また、その実施後も空港運営事業者と地元との円滑・良好な関係が維持されるよう最大限配慮すること。

平成25年8月21日

関西国際空港全体構想促進協議会

(公社)関西経済連合会会長 詳 会長 森 介 知 郎 副会長 大 阪 府 事 松 井 兵 庫県 知 事 井 戸 敏 \equiv 11 吉 伸 歌山県知 和 事 仁 坂 " 大 阪 長 徹 下 市 橋 堺 市 長 竹 山 修 身 " 立 神 戸 市 長 矢 田 郎 大阪商工会議所会頭 佐 藤 茂 雄